

インド輸出入銀行に対する初のインド向け「ニンジャ・ローン」を組成

みずほコーポレート銀行（頭取：佐藤康博）は、本日、インド輸出入銀行に対し総額 70 百万米ドルのシンジケート・ローン（以下、本件という）を組成しました。当行が単独アレンジャーとして組成した本件は、本邦金融機関が海外のお取引先に融資を行う「ニンジャ・ローン」で実行されており、当行がインド企業向け「ニンジャ・ローン」を組成したのはこれが初めてです。

インド輸出入銀行は、インド政府が 100%出資するインド唯一の輸出信用機関です。同行は、調達手段多様化の観点から日本のシンジケート・ローン市場からの調達を目指しており、本件では、当行のほか本邦金融機関 3 社が参加しました。これは、インドの輸出信用機関である同行に対する投資家の高い信認を裏付ける結果となりました。

当行は「ニンジャ・ローン」をはじめとした海外向けシンジケート・ローンの組成を拡大すべく、金融機関向けセミナーの開催などの体制整備に注力してきました。今後も、資金需要が旺盛なアジア地域向けのシンジケート・ローンの取り組みを強化していきます。

＜本シンジケート・ローンの概要＞

1. 融資形態： タームローン（シンジケーション方式）
2. 借入人： インド輸出入銀行
3. 貸付総額： 70 百万米ドル
4. 融資期間： 実行日より 5 年
5. アレンジャー： 株式会社みずほコーポレート銀行
6. エージェント： 株式会社みずほコーポレート銀行
7. 参加金融機関： 本邦金融機関 4 社（当行を含む）

(*) ニンジャ・ローン

日本市場で資金調達する海外企業向けに、複数の本邦金融機関が資金を出し合うシンジケート・ローン。

以 上